

佐賀県の視覚障害教育を結ぶ



弱視学級や見えにくさのある幼児児童生徒を担当される先生方、こんにちは！

盲学校にある『目の支援センター ゆうあい』です。私達は佐賀県における視覚障害教育のセンターとして、県内の弱視教育のネットワークを作り、研修や情報提供、相談支援などのサポートを行っています。とは言え、専門性に富んだ職員ばかりかという、みなさんおわかりのように、盲学校ももれなく転出入や新規採用などで、これから弱視教育について学んでいく職員もおります。日々の疑問や、疑問にも思わなかった！そのようなことについても、一緒に学びあえたらと思っています。

『ゆうあい net』はネットワークの名称であるとともに、毎月様々な情報を発信するこの通信の名称でもあります。この取り組みを通して、先生方と気軽に学び合える環境を整え、幼児児童生徒のより良い成長につなげることができたらと考えております。

一年間、よろしくお願いします。

今年度の弱視学級設置校について

今年度、県内には下記の10校に弱視学級が設置されています。弱視学級以外にも幼稚園や保育園、小中学校の通常学級、高等学校、特別支援学校に見えにくさのある児童生徒が在籍しています。

市 町	学校名	対象児童生徒
鳥栖市	鳥栖小学校	小4女
	基里中学校	中2女
佐賀市	巨勢小学校	小2女
	諸富北小学校	小6男
	川上小学校（新）	小1女
	城東中学校	中2男
小城市	三日月小学校（新）	小1女
多久市	東原庁舎中央校後期課程（新）	中1女
武雄市	御船が丘小学校	小3男
嬉野市	塩田中学校	中2男

書籍等について

役に立つ書籍や web サイトなども紹介していきます。書籍については盲学校の図書館や相談支援部にあり、職員も実際に指導の参考としているものです。実物を手に取りたい、他にも見てみたいなど、そのような時はどうぞ盲学校へお立ち寄りください。



「小・中学校における視力の弱い子どもの学習支援 ～通常の学級を担当される先生方のために～」

香川邦生、千田耕基、他

教育出版

小中学校の通常の学級に在籍する視力の弱い児童生徒について、その理解と支援をまとめた本です。各教科の学習や日常的な支援についても具体的に書かれているので、まずはこの本から読まれてはどうかと思います。



「視力の弱い子どもの理解と支援」

大川原潔、香川邦生、他

教育出版

上記の本と姉妹本的な関係にあります。内容的に重なるところもありますが、より広い内容が扱われており、合わせて読むことで、日々の具体的な支援について得られるものは多いと思います。

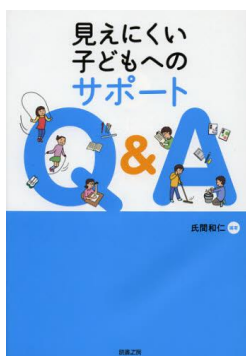


「視覚障害教育入門 Q&A」

全国盲学校長会

ジアース教育新社

視覚障害児童生徒の理解から視覚障害教育の基礎、教科指導、重複障害への対応、進路指導等を Q&A 方式でまとめた本です。保護者との対応のあり方や福祉制度、関係団体の紹介等、参考になることも多いと思います。



「見えにくい子どもへのサポート Q&A」

氏間和仁

読書工房

弱視の子どもの基本的な知識や特性、支援の方法だけではなく、転入学のことや年度初めに気をつけること、登下校や授業での具体的な支援まで Q&A 方式で説明がされています。編者は視覚障害者の ICT にも造詣が深く、タブレット端末についての事例なども挙げられています。

Web サイト

シリーズ 視覚障害者の大学進学 別冊 「進路指導を担当される先生へ」

4. 拡大文字使用の生徒がいます。拡大文字での大学受験はできますか。
(ICT 機器を使用できますか。印刷での受験はできますか。)

(拡大文字)

配慮申請で希望したポイントで実施されたケースもありますが、入試問題作成に係る大学側の事情の都合により、原問題の単純拡大という形式が、現状では多いようです。

(ICT 機器)

詳しくは 2 巻、を参照してください。

大学入学共通テストの配慮申請の冊子には、「人による問題文等の読み上げ、パソコン (タブレット端末を含む) の利用などを希望する場合は、事前に相談してください。」というような記載があるので、大学入試センターや各大学に個別に相談してみてください。

全国高等学校長協会特別支援学校部会、全国盲学校長会

大学進学支援委員会、全国高等学校長協会入試点訳事業部

視覚障害のある高校生の大学進学について、その進路指導や具体的な取組等についてまとめたものです。Q&A 方式で書かれており、わかりやすく実践的な内容になっています。

Web サイト

私の見え方紹介カードデジタル版～上手な自己表現の道しるべ～

日本弱視者ネットワーク

教科書は (1)

52

- a. 通常の検定教科書
- b. 拡大教科書 (出版社発行)
- c. 拡大教科書 (ボランティア製作)
- d. デジタル教科書 (UD ブラウザ)
- e. デジタル教科書 (アクセサリーディング)
- f. デジタル教科書 (マルチメディアデザイン)
- g. 音声デザイン教科書

© 2021 日本弱視者ネットワーク

自分の見え方についての理解やそれを人に伝えるときに役に立つアイテムです。カード形式になっていて、視力や視野、使用教科書や座席の位置、ICT 機器や趣味など幅広い内容を扱っています。

これをもとにすれば、自分の状況の確認や支援依頼の練習などがしやすくなると思います。

Web サイト

すべての人にやさしい情報を届けよう ～視覚情報のユニバーサルデザインガイドブック～

愛知県

色弱や見えにくさのある人へ資料を提示する際に必要な配慮や工夫などについてまとめてあります。テストや宿題などのプリント作成、板書や電子黒板での資料提示などの際に役に立つ内容です。

第 2 章 - 1 色に関する配慮

a. できるだけ多くの人に受けやすい色を選ぶ。

- ① 色を変える
色を指定するときに、彩度の低い (システム色) 色指定を避けて、色指定によって色の違いが分かりやすくなります。
彩度 (色の鮮やかさ) は「濃い色」と「薄い色」を併せて、彩度 (色の明るさ) は「明るい色」と「暗い色」を併せて指定する必要があります。



- ② 色の濃淡・明暗 (コントラスト) を変える。
背景の色と文字の色に明暗 (コントラスト) をつけると見やすくなります。
また、背景色でも文字の色でも見やすい色を選ぶだけで見やすくなります。イメージを変えたくない場合には、見やすい方法です。

Web サイト

『見えにくい』を支えるファーストブック

佐賀県立盲学校

本校が作成した、見えにくさのある幼児児童生徒の支援についての基本的な内容をまとめたハンドブックです。各教科における配慮点なども掲載しています。本校ホームページよりダウンロードできます。

学習環境について

❗ 教室までの動線や気をつけることは何ですか？

A. 段差や突起物、明るさや暗闇に気をつけましょう。

廊下など広い空間など、なんらかの理由で「見えにくい」状態にある場合、できるだけ注意をします。また、暗いところや明るい場所を移動する際、暗いところでは足元を確認し、明るいところでは目を慣らすようにします。また、暗いところでは、手探りで移動する場合は、手探りの範囲を広くし、足元を確認するようにします。

佐賀県立盲学校

電話 (0 9 5 2) 2 3 - 4 6 7 2

FAX (0 9 5 2) 2 5 - 7 0 4 4

代表メール mougakkou@education.saga.jp

お気軽に御連絡ください。巡回相談の依頼も受け付けています。